

管理者	サビ管	書記
		

会議名 カーサ柳橋 地域連携推進会議

開催予定日：2026年 3月4日(水) 13:00~14:30

<参加者紹介>

自治会 副会長	K 様
福祉と運営に知見	田邊様 (耀きやまと)
ご利用者	Y 様
ご利用者家族	K 様
カーサ柳橋	佐藤 (管理者)
カーサ柳橋	王 (サービス管理責任者)
カーサ柳橋	野間口 (男性フロア担当)

<会議の目的・役割の確認>

令和4年6月に取りまとめられた「障害者総合支援法改正法施行後3年の見直しについて～社会保障審議会 障害者部会 報告書～」において、「居住や生活の場であり、運営が閉鎖的になるおそれのあるサービス類型については、地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れることが、事業運営の透明性を高め、一定の質の確保につながるものと考えられ、介護分野の運営推進会議を参考とした仕組みを導入することが有効と考えられる」との指摘がなされました。

こうした背景を踏まえ、居住系サービスである障害者支援施設及び共同生活援助(以下「施設等」という。)において、各事業所で地域の関係者を含む外部の目を入れた「地域連携推進会議」を開催すること及び会議の構成員が事業所を見学する機会を設けること(それぞれおおむね1年に1回以上)が義務付けられました(令和6年度は努力義務、令和7年度以降は義務)。

施設等は、単に事業者に求められる義務として受け止めるのではなく、利用者がその人らしく安心して暮らすことができるよう、この仕組みをうまく活用しながら、施設等と地域との連携を推進し、事業運営に活かしていくことが重要です。

・地域の皆さまにカーサ柳橋(グループホーム)の存在を知って頂く

会議を通して、地域の方々にカーサ柳橋の存在を知って頂く。

結果として災害時等で助けていただくだけでなく、こちら側で協力できることがあれば貢献したいと考えています。

交流や貢献等をきっかけに、ゆくゆくは地域と利用者との関係が作られていくことを目標にしています。

・サービスの透明性と質の確保

カーサ柳橋は生活の場ということもあり、外部の方の目が入りにくいことが課題の一つです。

会議を通して地域の皆さまにサービス内容や取り組みを知っていただき、透明性の確保を目指していきたいと考えています。

・利用者さんの権利擁護

利用者が地域で希望する生活が送れているか等、会議を通して皆さまと確認、共有していきます。また、法人（事業所）の虐待防止や権利擁護への取り組みのご説明を行います。

①カーサ柳橋の紹介

カーサ柳橋は平成26年4月に事業を開始したグループホーム（共同生活援助）です。

男性5名、女性5名の計10名の入居者が生活されています。

自立支援に重きを置き、個別支援計画書に基づき、ご自身でできることはなるべく行っていただき、苦手なことは世話人、生活支援員である職員が支援します。

週末はご自宅に帰宅される方や、単身あるいはご家族の高齢化等によりホームで過ごす方がいます。ホームで過ごす場合、ゆっくりする方もいれば単独で外出したりガイドヘルパーを利用して外出されるなどして過ごされています。

入居者の誕生日には誕生会を開催したり、季節等に見合った行事や外出イベントを実施しています。

お食事は法人内外の配食サービスを利用して食事提供を行っています。

日中は通所施設等に通り、軽作業や活動をして過ごされています。

行事の企画例

- ・大和市民祭りへの外出
- ・阿波踊りへの外出や一部参加
- ・誕生会
- ・クリスマス会
- ・お盆や年末年始での特別メニューの企画、提供
- ・日帰り外出（2024年：小田原、2025年：富士サファリパーク）

②経営状況（12月までの実績）

拠点名	カーサ柳橋	開所・営業日数	31	利用率	89.7%
予実対比表 コード	項目	月次		累計	
		金額	予算差	金額	予算差
514	事業活動収入計(A)	5,107,977円	73,181円	47,619,428円	137,816円
518	事業活動支出計	4,776,847円	188,378円	37,443,569円	-309,362円
40100	人件費(B)	3,293,564円	143,538円	24,096,547円	-165,561円
手計算	人件費率(B÷A)	64.5%	—	50.6%	—
519	事業活動資金収支差額	331,130円	261,559円	10,175,859円	-171,546円
561	当期資金収支差額	-8,120円	269,359円	7,262,609円	-155,946円

③近隣から事業所内の苦情等について

- ・カーサ柳橋では年間を通して苦情はいただいておりませんが、ご家族様よりご意見やご要望を定期的にいただいております。
- ・特にいただくご家族様からのご要望としては季節の変わり目に関する服装や体調管理です。

④利用者の権利擁護、虐待防止の取り組みについて

- ・毎月セルフチェックを実施
グーグルフォームを使用して職員自身や他の職員の関わり方に権利侵害や虐待に繋がる支援がなかったか振り返りを行っています。
毎月の会議でその結果を共有して透明性を確保できるよう努めています。
- ・虐待防止委員会の実施
3ヶ月に一度虐待防止委員会を実施して虐待や権利侵害が起きていないか確認を行っています。
(上記セルフチェックを活用)
虐待と疑われる行為を見聞きした場合、行政へ虐待通報を行うことになっています。
- ・身体拘束適正化委員会
利用者に対して身体拘束や行動制限等を行っていないか確認しています。
やむを得ず行う場合は特定の要件を満たし、記録を行うことが義務付けられています。
- ・感染症対策委員会の実施
感染症に関する情報共有や研修、講習を行い、感染予防に努めています。
- ・事故について
今年度、事故報告はありません。
- ・ヒヤリハットについて
事故ではないものの、ヒヤリとしたことハッとしたこと(事故に繋がりそうなこと)を報告、共有しています。気付きであるヒヤリハットを率先して挙げていくことが大切であると考えます。

<参考>今年度(4月1日)から2/17現在で84件。月平均7.6件のペース。

⑤利用者さんの様子

- ・平均年齢は56.6歳 平均区分は5.5で主に知的障害をお持ちの方々が利用の対象となっています。最年少は29歳、最高齢は85歳です。
入居者の平均年齢が上がってきており、高齢化や機能面の低下が課題になっています。

⑥関係機関との連携

訪問診療、訪問看護、訪問歯科、訪問リハビリ等、障がい福祉サービス以外のサービスを利用して利用者の健康や緊急時の備えづくり、安全に生活が送れるよう努めています。

⑦防災対策・BCP（業務継続計画）について

- ・年に4回の避難訓練等行う他、法人合同防災訓練を年2回実施しています。
今年度は職員向けに普通救命講習を実施してAEDや救命の知識を深めています。
- ・AEDを設置、大和市消防へ申請を行っており、地域の方が緊急で使用する場合にお貸しできるようにしています。
- ・BCP（業務継続計画）として災害時用と感染症に関する内容を明記したものを作成、共有しています。別紙回覧用 参照
- ・カーサでは三日間の食料と水分を10名+職員分を準備している。災害が起きた際は薬の在庫等が心配。また定期的に職員は救急救命の研修を受けています。
- ・（副会長）最寄りの避難場所は引地台公園だが、テントなどが立つ場所、避難所となる場所は、引地台中学。

⑧地域との交流

- ・向かいにあるふきのとう舎、ふきのとう向生舎と共同で感謝祭を企画、出店をして交流を図っていますが、入居している利用者が地域の方々と関わる機会は殆どないため、今後少しずつ交流ができていけたらと考えています。
- ・交流が少ないため災害時等での地域連携に関する計画はほぼありません。法人内のバックアップと事業所内での対応、必要に応じて広域避難場所である引地台公園への避難が考えられます。
- ・（田邊）耀きやまとは毎週日曜日にカラオケを行っている。お菓子なども出しており近隣のGHの利用者さんも参加されている。また子供神輿の際は耀きやまを休憩スポットにしており、ご入居者様も神輿と子供が来るのを楽しみにされている。耀きやまとは自治会に参加している。
- ・（副会長）現在カーサは自治会には入っていないが、会長などに言えば入れると思う。
自治会で清掃活動はしていなく、直近であるイベントは3/29の桜まつり。
- ・（田邊）昔、ふきのとう舎ができる前は多少地域から反対もあった。その当時の会長さんは「施設ができて前向きに」という考えがあったため、色々動いていた。
- ・（ご家族様）地域の祭り等イベントがあった際、カーサ柳橋の一部を開放する等して休憩所にするのはどうか。きっかけを作り、地域に知ってもらう機会を作ってはどうか。
感謝祭の際はふきのとう舎や向生舎内が混んでいるので、カーサを休憩場所にするのと知ってもらえると思うし、GHに興味ある人が気軽に行け、見学できるからいいと思う。本来のGHの見学は敷居が高くて、行きたくてもいけない人もいると思う。

⑨質疑応答

- ・特になし

⑩施設内の見学

- ・皆様のご都合や、後日再訪するのは二度手間になるため会議後に見学したいというご要望を皆様から頂いたため、当日見学を行った。
- ・（ご家族様）男性フロアは日当たりがいいですね。

⑪ご意見

- （副会長）ここに来るまでは何の施設か詳細がわからなかった。詳しく知れてよかった。
- （田邊）今回の会議はとても有意義な時間でしたね。カーサが地域との繋がりが濃くなる一歩目ですね。これから頑張ってくださいね。

以上